



料理で深める家族のキズナ うから館で子どもクッキング教室

町は7月28日、子どもクッキング教室を南の関うから館で開催し、小学生と保護者36人が参加しました。

この教室は、町主催で毎年開催。町保健センターに勤める管理栄養士の松永麻理さんの指導のもと、食生活改善推進員協議会の推進員5人を招き、サバのドライカレーや切り干し大根のトマト煮を作りました。子どもたちは、お父さんやお母さんに教えてもらいながら、楽しく料理をしていました。

大塚隼さん(上長田)は、「料理は楽しい。上手に作れてよかった」と感想を話しました。

どうやって食べようかな 文化幼児園児がブルーベリー狩り

7月31日認定こども園文化幼児園(久保田美智子園長)の年中、年長児が、ブルーベリー狩りを楽しみました。ブルーベリー畑は島崎敏裕さん(関村)が丹精込めて作っているもので、園児たちに採れたてを食べてほしいという思いで畑を提供し、今年で2年目になります。

かわいらしく丸く熟れた実を、園児たちは大事そうに摘み取っていました。

園児たちは、「お家に帰ってみんなで食べるのが楽しみ」や、「自分で採ったブルーベリーだから、おいしいと思う」と笑顔を見せました。



“まちづくり”は“元気づくり”から 元気なまちシンポジウム

一般財団法人元気づくり大学(大平利久学長)は高齢者の健康維持が、まちづくりに繋がることを伝える「元気なまちシンポジウム」を南の関うから館で開催し、町民と県内外の自治体関係者約200人が参加しました。

「元気な高齢者が増加すればするほど、“まち”が活力を増してくる」をスローガンに掲げ、南関町は平成23年4月から元気づくりシステムを導入しており、市町村での導入は全国で2番目、九州では初となっています。

大平学長は、「高齢者がいつまでも元気であるためには、しっかりと自分の足で立つことが大事。自分の身体が動けば、社会活動に参加できる」とトレーニングの重要性について実践も交えてわかりやすく解説しました。



▶ トレーニングの最後にポーズを決める大平学長と参加者



▶ 報告に訪れた田端さん(右)

インターハイの出場を報告 田端星那さん

田端星那さん(上坂下)が7月29日、雪野副町長を訪問し8月15日から鹿児島県鹿児島市で開催された全国高等学校総合体育大会卓球球技大会への出場を報告しました。

田端さんは、6月に行われた佐賀県の同大会でシングルの部で3位、ダブルスの部で準優勝し、全国大会への出場を手に入れました。

田端さんは、「高校最後の総体。悔いが残らないようダブルスもシングルも優勝を目指し、頑張ります」と大会に向けて力強く意気込みを語り、雪野副町長は「一生懸命応援しています。頑張ってください」と激励しました。



全日本小学生ソフトテニス選手権大会出場報告 橋本祈さん、橋本明さん

天水オレンジに所属する橋本明さん(関下)、橋本祈さん(関下)が7月24日、雪野副町長を訪問。7月25日から28日まで栃木県那須塩原市で開催された、第36回全日本小学生ソフトテニス選手権大会への出場を報告しました。

明さんは、「私は前衛なので、ボレーやスマッシュを決めて、自分の役割が果たせるよう頑張りたい」と力強く語り、祈さんは「たくさん練習をしてきたので、試合で発揮したい。1試合1試合、自分たちの力が発揮できるように頑張りたい」意気込みを語りました。

雪野副町長は、「後悔の残らないよう、楽しんで頑張ってください」と激励しました。



▲ 村田菜緒さんの発表



▲ 笑顔を見せる発表者たち

全国大会出場を報告 小学生ソフトテニス

A-lifeなんかんに所属する南関ジュニアソフトテニスクラブの中嶋海音さん(下坂下)が、7月17日佐藤町長を訪問。7月25日から28日にかけて開催された第36回全日本小学生ソフトテニス選手権大会(栃木県那須塩原市)への出場を報告しました。

中嶋さんは「ペアの子と協力して練習の成果を発揮したい。一つでも多く勝ち進めるよう頑張ります」と、大会への意気込みを語り、佐藤町長は、「町内の子どもたちの目標となるよう、1勝でも多く勝ってほしい。後に続く子が出てくるよう頑張ってください」と激励しました。



▶ 報告に訪れた中嶋さん(右から2番目)

おはなしの世界を届ける 南関町童話発表大会

南関町立図書館(谷口慶志郎館長)は、7月20日令和元年度南関町童話発表大会を町公民館で開催。町内4小学校の代表12人が低学年の部と高学年の部に分かれて発表しました。

児童たちは一つひとつの言葉を大切にしながら、やさしい口調や感情を込めた表現で発表。来場者は本の世界に引き込まれていきました。また、おはなしの会「あすなる」の福田祐平さん(関町)による読み聞かせも行われました。

町立図書館協議会委員で審査委員長の坂本隆文校長は「いろいろなお話しが聞けて楽しかったです。みなさんすばらしい発表でした」と講評しました。

優秀賞には、低学年の部が『はなになりたい』を発表した雪野笑蔭さん(二小・2年)、高学年の部が『ひまわりのおか』を発表した村田菜緒さん(一小・6年)が選ばれました。2人は南関町の代表として、8月3日に玉東町の中央公民館で開催された玉名地方童話発表大会に出場しました。